



ひがし こい よん

JICHIKAI NEWS LETTER Vol. 8

東恋4 ニュース

8号
2026.7

東恋ヶ窪四丁目地域の皆様こんにちは！地域のイベント情報や四丁目ならではの話題をお届けします。住み良い地域にするために、お互いの交流の場を目指します。

2026年度 定期総会 開催しました



5月24日の総会には、会場参加・書面投票・Web投票で226名の会員が出席されました。ありがとうございました。北の原地域センターの会場には新旧理事・班長の参加が多く、ほぼ満席で、コロナ期以来の盛会となりました。議案はすべて可決され、新年度の自治会活動がスタートします。



総会を期に、新班長の任期が始まります。また総会に続いて新・旧理事会が開催され、今年度の総務・福祉・厚生・街灯・防犯各部の部長・副部長を選出し、引継ぎが行われました。旧理事・班長の皆さま、この1年間ありがとうございました。新理事・班長の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。会長 柴田洋弥



今年の総会の議長は高橋さんが務めてくださいました。快く引き受けていただき本当にありがとうございます。おかげさまで総会はスムーズで穏やかに進行しました。高橋さんからコメントをいただきました！

<高橋さんからのコメント>

この度は総会議長を務めさせていただき、ありがとうございました。最初は少し緊張しましたが、丁寧なご説明のおかげで無事に進行できました。議長の立場から会議を見て、役員の皆様が忙しい合間を縫って地域のためにどれほど動いてくださっているかを深く理解できました。日々の活動、本当にありがとうございます（高橋）

新年度スタート しました！

総会で今年度の役員体制が承認されました。今年度は、右写真のメンバーで役員を務めます。若林さんが新たに加わり副会長と防災委員長を務めます。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の特徴としては、副会長が4人になっています。柴田会長の熱い想いを受け話し合った結果です。

今年度も役員みんなで力を合わせてやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします（増田）



後左から 栗原（監事・副会長）坂本（会計）稲葉（副会長）若林（副会長・防災委員長）浜野（書記）山越（副会長・企画委員長）
手前左から豊沢（監事）柴田（会長）増田（書記）

夏祭り

南北コースに分かれて回りましたが、最後は大混雑！みんなの声が重なり合い盛り上がりました😊



7月11日（土）『合同夏まつり』が行われました。

浴光会、東恋ヶ窪三丁目自治会と東恋ヶ窪四丁目自治会の『合同夏まつり』です。参加者は大人：56人、子ども：55人（四丁目受付分）会員、会員外の合計です。

浴光会職員寮三階では、輪投げ、的当て、魚つり、ボーリング、紙相撲、あじさい苑では、わにたたき、けん玉、綿あめ、かき氷、駄菓子屋、シアター、浴光保育園では、うちわ作り、ヨーヨーつり、金魚すくい、16時30分ごろからは、浴光会職員寮で盆踊りが行われました。

暑かったので、かき氷は、行列が絶えませんでした。参加していただいた会員の皆様、お手伝いしていただいた会員の皆様、ありがとうございました！（稲葉）



私は短い時間しか参加できませんでしたが、お手伝いしてくださっていた方と少しだけお話ができました。

今回参加されたその方は、お子さんが浴光保育園出身だからお手伝いしようかと思ったそうです。お子さんは現在40代。驚いたのはその頃の先生がまだ働いていらっしやっとのこと。浴光保育園は歴史のある保育園なのですね。当時は、今の保育園の建物のある場所も園庭で、夏のお祭りでは打ち上げ花火もあったとか！

またまた恋ヶ窪の知らない歴史を教えてくださいました。ありがとうございました（増田）

よんよん

防犯パトロール

このコーナーは四丁目ならではの地域の話や歴史、人などをお届けします！

「防犯」について、近頃は皆さまの関心も特に高いのではないのでしょうか。今回は「防犯パトロール」を引き受けてくださっている豊沢さんにインタビュー！四丁目の防犯活動「防犯パトロール」についてご紹介してもらいます。地域全体で取り組むことで、安心・安全に暮らせる地域づくりができると思います。

豊沢さんは、四丁目自治会の幹事でもあります。インタビューにご協力いただきありがとうございます（増田）

東恋ヶ窪4丁目自治会は近年、4丁目がより明るく安心して安全な地域になるように、役員、理事、班長ばかりでなく、自治会員全員で活発な活動を行ってきました。令和8年度から新たに防犯パトロールを開始する事を役員会で決定しました。

豊沢は平成28年1月23日から国分寺市防犯町づくり委員もやっておりましたので、担当する事になりました。大変やりがいの有る事と思い、毎月2回のパトロールを雨天も決行する案を役員会に提案し承認されました。

1回目は毎月第1火曜日に14時30分から15時30分に小学生1年生から2年生の低学年の子供達の見守りを中心におこないます。2回目は毎月第3土曜日に10時30分から11時30分に犯罪事件で一番発生件数の多い自転車泥棒などの防犯を重点的に行います。

参加者はスタート時間までに自治会防災本部のライオン公園に来て頂いており、豊沢1人でも行なっています。



7/18(土)の防犯パトロールに参加してくださったみなさん
左端が豊沢さん。いつもありがとうございます！

7月18日は8回目になり、防犯に関心のある仲間が来てくれると思います。

1時間をかけて約5000歩。4丁目地域全域をくまなくパトロールする事は出来ませんが重点地域を決めて行っています。回を重ねる度に要領が分かってきました。

帽子に腕章とベストを着てパトロールをしていると、地域の人もねぎらいの声をかけてくれる人が居り、関心を持ってくださる方が増えることを期待しながら取り組んでいます（豊沢）

第三土曜日は資源回収の日です！



資源回収の奨励金は、自治会活動の大切な資金源の一つです。

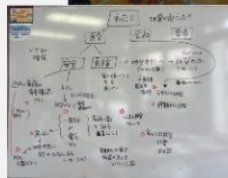
お家にちょっとだけ貯めておいて第3土曜日に出してもらえるとありがたいです。引き続きご協力よろしく願いいたします。



班で1軒のお家に集めているところもあるそうです



2026年度奨励金額の推移



あさりの

防災委員会のご紹介

毎月第2日曜日の午後、防災委員会を開いています。

この日は、防災訓練の内容を考えています。いろんな意見が出る中で、実際に災害が起きた時、自分たちはどんな動きをしていくのか。まずは書き出してみよう！と思いつくまま意見を出し合い、ホワイトボードに書き出してみんなで考えているところです。東日本大震災や阪神淡路大震災の時の経験からの意見もたくさん出ました。災害はいつ起こるかわかりません。日頃の備えが大事です。安心して暮らせる地域を一緒に作っていきましょう！

防災委員（企画委員も）大募集中！！



東恋知っ得NEWS

このコーナーは地域の方にとってお得なさまざまな情報を載せていきます。こんなのあるよ！の情報もお待ちしております（個人的な利益等のためのものはご遠慮いただきます）ご連絡はmasuda@hiko4.comまで。

今回は、恋ヶ窪の昔話です。前回の「よんよん」コーナーでお話を聞かせていただいた、鈴木さんから教えていただきました。

今も恋ヶ窪には俳句を愛する方々が多いのは、こんな歴史があったのですね。そのまま掲載させていただきます



宝雪庵可尊

「国分寺のむかしばなし 著者 岩崎文子」より

国分寺、恋ヶ窪村は、俳句作りの大師匠となった、宝雪庵可尊が生まれた土地だ。江戸時代も終わりの頃、坂本八郎兵衛は、俳句好きな父親のもとで、野良仕事をしながら、俳句作りを習った。

この国分寺あたりの百姓は、たきぎや炭、野菜なんぞを第八車に積んで、まだ暗いうち、家を出て、江戸に売りに行く、帰りは下肥を積んで帰ってくる。

「こってりうめえものを食っている江戸っ子の下肥は、すこぶる上等なもので、俺たち百姓の土づくりのために、この下肥運びはそりゃあ大切な大仕事よ。」そんなこんで、江戸の人たちと親しく話をするようになり、牛込（今の新宿）赤城神社に住む、俳句作りの大師匠五世宝雪庵嵐山を知ることとなる。八郎兵衛は大師匠に巡り合い、同時に一流の俳句に触れるようになった。庄屋や大旦那の文化人が集まる中、下肥のにおいがブンブン放った若者が、端っこ

の席でも仲間に入れてもらえたんだと。八郎兵衛、第八車に山ほどの作物を乗せて江戸を出るには、坂また坂を下るが、帰りはもっと重たい下肥を何桶も積んで、上り坂を登ってかえる。そりゃあ言葉につくせぬほど難儀なもんだった。八郎兵衛、それをものともせず、喜んで牛込赤城神社に通うようになった。

八郎兵衛の俳句作りにおける熱の入れようは、相当なものだった。嵐山先生に目かけられるようになり、いよいよ俳句作りが面白くなっていった。「おらも先生のように俳句作りで飯が食えるようになりてえなあ」と願い、八郎兵衛は誰にも負けぬくらい勉強したと。すると思いが通じたか、嵐山先生から見込まれて、八郎兵衛は牛込赤城神社で暮らせるようになった。

俳句作りで暮らせるということは、弟子たちの俳句を見てやることや、毎月やる俳句の会で良し悪しを言ってやる評者となること、あちこちの神社で開く、俳句の会の順位を決める判定人となることだ。ひいき筋のご祝儀もたまにはあったがよ。八郎兵衛、嵐山先生から可愛がられてか、嵐山先生の養子となった。

そして、江戸でも俳句の師匠として、忙しくなってきた。五世宝雪庵嵐山が亡くなると、坂本八郎兵衛は47歳で宝雪庵可尊という、俳諧師の名前をもらった。

そして六世を継ぐことになった。宝雪庵というなは、松尾芭蕉の直系の蕉門で、俳句作りの師匠となったということだ。だんだんと弟子たちも増え、北は陸奥から、南は肥後、薩摩にまで3500人にもなったと。

だけんど、六世宝雪庵可尊の一番後ろ盾になってくれたのは、江戸の門人たちとこの多摩地域の上層農民たちだった。可尊は俳句の本、「伊豆土産」や「俳諧初学伝」などを出して、江戸ではいよいよ俳諧宗匠として有名になったんだと。明治元年、新政府になり、六世宝雪庵可尊も70歳になっていた。

「わしもそろそろ懐かしい恋ヶ窪に帰るとすべえ」と江戸から戻ってきた。ところが、年寄りとして退いたつもりが、多摩の俳人たちを大いに賑わすこととなった。俳句作りを楽しむ集まりが、あっちこちで出来てきた。

野良仕事へ行き、一休みしては俳句を作るという百姓がどんどん育っていった。宝雪庵の宝という字を俳号にもらい、大いに文化を楽しんだということだ。六世宝雪庵可尊が江戸に出ることができたのは、残された田畑を守り、助けてくれた恋ヶ窪村の人々の情愛があったからこそだ。

「月花の 遊びにゆかん いざさらば」と辞世の句を残し、六世宝雪庵可尊は明治19年、88歳の天寿を全うした。



お知らせ



8月4日（火）14:30 防犯パトロール
（ライオン公園集合）

8月15日（土）10:00 防犯パトロール
（ライオン公園集合）

12:00 資源回収

8月29日（土）19:00-20:00

「戸じまりようじん火のようじん」

（サミット恋ヶ窪店前集合）

詳しくはチラシ、自治会からのお知らせをご覧ください

編集後記

梅雨も明け一気に暑くなりました。40度超える日を「酷暑日」と決めたそうですが、すでに酷暑日がちらほら。若い頃は天気予報で30度超えていると驚いていたように覚えています。尋常ではない暑さです。冷房をつけ、水分、塩分補給をしながら乗り切りましょうと思います。皆さまも気をつけてお過ごしくださいませ。防犯パトロールも無理のない範囲でお願いします 🧑 (増田)

自治会のホームページでもさまざまな情報をご覧になれます。また各種お申し込みもこちらからできます。
(右QRコードをご利用ください)

<https://hiko4.com/>

